

都市再生整備計画 事後評価シート
竜王地区

平成26年3月

山梨県甲斐市

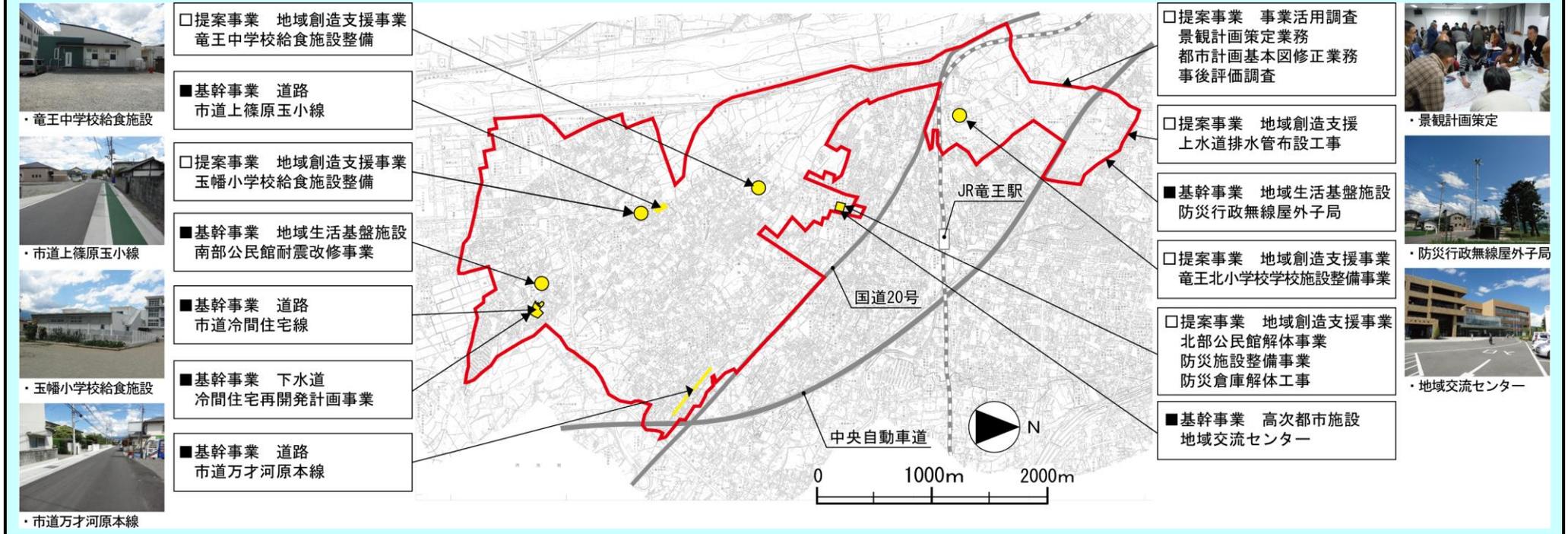
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山梨県		市町村名	甲斐市		地区名	竜王地区			面積	798ha		
交付期間	平成21年度～平成25年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	1,908百万円	国費率	0.352				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路(市道竜王本線)、地域生活基盤施設(竜王地区防災無線、竜王小学校体育館耐震改修事業、竜王北小学校体育館耐震改修事業)、高次都市施設(甲斐市竜王地区)									
	当初計画から削除した事業		事業名										
			提案事業	地域創造支援事業(北部公民館解体事業、防災施設整備事業、竜王小学校体育館解体工事、竜王北小学校体育館解体工事)									
	新たに追加した事業		削除/追加による理由										
			基幹事業	道路(市道竜王本線)、地域生活基盤施設(竜王小学校体育館耐震改修事業、竜王北小学校体育館耐震改修事業) 別事業で実施するため関連事業に移動 「公共施設の耐震化率」「防災対策への満足度・認知度」の数値目標に影響するが、関連事業等で実施したため目標値は据え置いた									
交付期間の変更		当初											
		変更	平成21年度～平成25年度 交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響 数値目標に対して若干の影響は考えられるが目標数値は据え置いた。また、交付期間の延長に伴い、目標年度を平成25年度に変更										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
	指標1	防災情報のネットワークの整備率	%	60	H20	75	H25	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	指標2	地域交流センターの利用者数	人/年	42,000	H20	44,000	H25		85	○	あり	防災行政無線の屋外拡声子局の増設が進み、防災情報のネットワーク整備率が向上し目標を達成した。	
	指標3	公共施設の耐震化率	%	18	H20	75	H25		43,590	△	あり	本施設の利用者が耐震化事業実施中に他施設を利用して活動しており、事業完了後も本施設に戻っていない状況があり、目標が達成できなかった。	H26.4
	指標4	防災対策への満足度・認知度	%	50	H20	70	H25		100	○	あり	地区内の全ての指定避難所の耐震化が完了し、耐震化率は100%となり目標を達成した。	
	指標5								74.4	○	あり	本事業により地区の都市防災機能が向上し、それに伴う市民の防災意識の向上から避難場所の認知度が高まり、目標を達成した。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
	その他の数値指標1	地域交流センターの利用団体数	団体/年	3,087	H20			モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス	・市民対話集会 ・審議会委員等の住民公募 ・パブリックコメントの実施 ・自主防災組織の資機材点検・整備					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				市民との意見交換や各種審議会委員への市民参加の公募をし、協働によるまちづくりを推進する 市民が意見や提言を行うことができる公聴制度の充実を図る 自主防災組織による防災資機材の整備を図る		
	持続的なまちづくり体制の構築	・高齢者と子どもの帰り道ふれあい事業 ・公民館運営審議会 ・花と緑のまちづくり推進協議会					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				見守り活動を継続し、地域の交流を深める 多くの市民が参加できる魅力ある講座の開催を図る 地域づくりの支援と魅力あるまちづくりを推進する		

様式2-2 地区の概要

竜王地区(山梨県甲斐市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標 人が安心、安全に暮らし、活気あふれるまちづくりの推進 目標1 都市機能の充実したまちづくり 目標2 安全で快適に暮らせるまちづくり 目標3 住みよさをみんなで築くまちづくり	防災情報ネットワークの整備率	単位: % 60 H20	75 H25	85 H25
	地域交流センターの利用者数	単位: 人/年 42,000 H20	44,000 H25	43,590 H25
	公共施設の耐震化率	単位: % 18 H20	75 H25	100 H25
	防災対策への満足度・認知度	単位: % 50 H20	70 H25	74.4 H25



まちの課題の変化	<p>地区内には、防災機能や交通安全対策等に配慮した都市基盤整備が必要な道路が残っている。 地域の自治体活動への参加者が限られており、より多くの市民が参加できる活動への支援が必要である。</p>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>避難所としての機能をより一層強化していくため、防災資機材や非常時の電源の確保といった整備を推進する。 市民との協働によるまちづくり活動を活性化させるために、情報提供の場や話し合いの場を設けるとともに、市民の活動への支援を強化する。 防災面や交通安全面など住環境の向上を図るため市道改良を進め、都市機能の強化を図る。 行政と市民が一体となったまちづくりを推進していくため、市民のコミュニティ活動への支援を拡充し、より多くの市民が参加できる活動の活性化を図る。</p>